

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

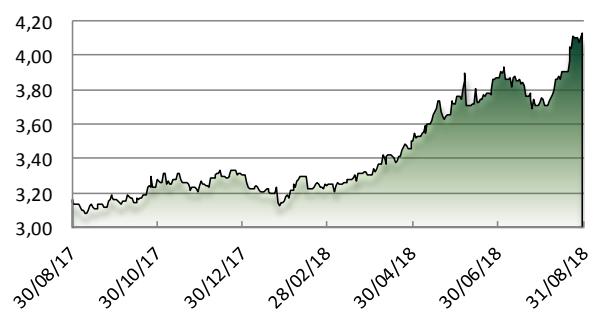
トルコリラとアルゼンチンペソを中心に新興国通貨が急落。特に、アルゼンチンペソは29日にマクリ大統領が国際通貨基金(IMF)に対して信用枠(500億ドル)に基づく融資実行の前倒しを要請したことを嫌気して史上安値を更新。アルゼンチン中銀はペソ防衛のため政策金利を60%まで引き上げるなど、マーケットの混乱が拡大しており、リスクセンチメントの悪化を背景に、レアルも取引開始直後から一本調子で下落。節目の4. 20を突破すると、4. 21台半ばまで急落。早くも史上最安値更新を窺う展開となつたが、これまで静観姿勢を貫いてきたブラジル中銀が6月22日以来、2ヶ月ぶりの新規スワップ入札の再開に踏み切ると、4. 14台後半まで大きく反発した(為替取引の流動性が集中する証券取引所の先物為替も、数分間取引が中断された)。中銀はまず、15億ドルに相当する3万枚の入札を実施。続けて、8億ドルに相当する1万6150枚の入札を実施した。ウェブサイト上に公開された声明文によると、入札再開の目的として、①ドルの流動性供給、②変動相場制に基づく為替市場における円滑な取引を保証する(「変動相場制はマーケットのショックを緩和する最初の防波堤である」と強調)、の2つを挙げた。なお、6月介入時とは異なり、今後の介入方針については規模と頻度も含めて言明せず、「マーケットの機能不全の度合いに応じて決定する」としている。また、為替市場への介入は金融政策とは無関係であり、「足許の混乱と金融政策に機械的な関係は存在しない」と繰り返している。

マーケットデータ

Indicator	Unit	8月29日	8月30日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値	
レアル	対ドル	BRL	4,1063	4,1492	1,04%	11,25%	3,1210	4,2146
	対円	JPY	27,20	26,74	-1,69%	-10,17%	35,13	26,39
	対ユーロ	BRL	4,8054	4,8430	0,78%	10,90%	3,8531	4,9087
円	対ドル	JPY	111,68	110,98	-0,63%	-0,05%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	130,75	129,51	-0,95%	-0,37%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	78.389	76.404	-2,53%	-4,82%	88.318	69.069	
CDS Brazil 5yrs	bps	292,40	301,20	3,01%	42,19%	303,05	142,50	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,10	12,36	2,15%	11,74%	12,40	9,43	
DI Future Jan19 (金利先物)	%	6,79	6,95	2,36%	4,91%	7,88	6,21	
3 Months US Dollar Libor	%	2,3126	2,3126	0,00%	-1,30%	2,3691	1,6959	
CRB Index (国際商品指数)	Index	192,96	192,80	-0,08%	-1,51%	206,95	186,74	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

